

令和7年度 発達障がいセミナー「知ろう・学ぼう・支えよう」〈参加申込書〉

ふりがな			
名前			
住所	〒 ー (自宅・勤務先)		
電話番号	(自宅・勤務先)	FAX 番号	(自宅・勤務先)
所属・勤務先	* 専門職対象の講座（G・H）は、必ず所属や勤務先等をご記入ください		

* お書きいただいた情報は、当事業の運営にのみ使用させていただきます

今回申し込まれる講座に○をつけてください

受付開始日	申込講座	講座名	実施日
5 / 1（木）		A：発達が気になる子どもと家族への支援のあり方	6 / 22（日）①AM ②PM
8 / 1（金）		B：発達障がいの特性理解と合理的配慮	9 / 20（土）
9 / 1（月）		C：神戸市における特別支援教育	10 / 11（土）
10 / 1（水）		D：ABA（応用行動分析学）から行動問題を考えよう！	11 / 8（土）
10 / 1（水）		E：ソーシャルスキルトレーニング（SST）	11 / 30（日）
12 / 1（月）		F：TEACCHプログラム	① 1 / 18（日） ② 1 / 25（日）
5 / 1（木）		G：インリアル・アプローチ ★専門講座	① 6 / 28（土） ② 7 / 5（土） ③ 7 / 19（土）
9 / 1（月）		H：言語療法 ★専門講座	① 10 / 4（土） ② 10 / 18（土）

- ・ 連続の講座はすべて受講してください。
- ・ 受付開始日前に申し込みをされた場合は無効となります。受付開始日は講座ごとに異なりますのでご確認ください。
- ・ 公共交通機関でご来館ください。
- ・ 託児はありません。

申し込み方法

申し込みには、会員登録が必要となります。右側の QR コードの読み取り、またはホームページにアクセスしてお手続きください。 → <https://www.kobekko.or.jp/event/>

★FAX でもお申し込みできます。 FAX 番号：078-958-8177
(FAX でお申し込みの方へはご参加いただけない場合のみ、ご連絡します。)



【お問い合わせ先】

◆こべっこランド TEL：078-958-8030（発達支援直通） 078-958-8011（代表）
〒652-0862 神戸市兵庫区上庄通1-1-43



【令和7年度】

発達障がいセミナー「知ろう・学ぼう・支えよう」



発達がゆっくりな子どもたちとご家族を支援されている専門職やボランティア、ご家族を対象に、さまざまな療育の専門分野の講師による講座を開講します。連続の講座は毎回内容が異なりますのですべて受講してください。

〈対 象 者〉 保育士・教員・児童館職員・児童発達支援及び放課後等デイサービス職員、発達がゆっくりなお子さんの支援に興味のある方、ご家族等（神戸市在住・在勤に限る。なお自動返信メールで受付完了してもお断りする場合がございます）。

* A～F で所属・勤務先等のある方は明記してお申込みください

* G・H は専門職を対象にしていますので、必ず所属・勤務先を明記してください

〈受 講 料〉 無料

〈定 員〉 各90人

〈会 場〉 こべっこランド 3F 研修室

〈主 催〉 神戸市社会福祉協議会 こべっこランド

〈協 力〉 神戸市発達障害者支援センター

〈講座一覧〉



	講 座 名	講 師	日 時	受付開始
A	発達が気になる子どもと家族への支援のあり方	神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲 氏	6 / 22（日） ① 10：00～12：00 ② 13：00～15：00	5 / 1（木）
B	発達障がいの特性理解と合理的配慮	大阪教育大学名誉教授 竹田 契一 氏	9 / 20（土） 13：30～16：30	8 / 1（金）
C	神戸市における特別支援教育	特別支援教育相談センター 担当課長 大西 道代 氏 特別支援教育士 SV 根来あゆみ 氏	10 / 11（土） 13：30～16：30	9 / 1（月）
D	ABA（応用行動分析学）から行動問題を考えよう！	兵庫教育大学大学院教授 井澤 信三 氏	11 / 8（土） 13：30～16：30	10 / 1（水）
E	ソーシャルスキルトレーニング（SST）	大阪医科大学 LD センター 西岡 有香 氏	11 / 30（日） 13：30～16：30	10 / 1（水）
F	TEACCHプログラム	エルムおおさか所長 井上 芳子 氏	① 1 / 18（日） ② 1 / 25（日） 13：30～16：30	12 / 1（月）
G	インリアル・アプローチ ★専門講座	日本インリアル研究会 永安 香 氏 河内 清美 氏 富山 幸恵 氏	① 6 / 28（土） ② 7 / 5（土） ③ 7 / 19（土） 13：30～16：30	5 / 1（木）
H	言語療法 ★専門講座 ① 集団指導 ② 個別指導	城陽市立ふたば園園長 言語聴覚士 松尾 育子 氏	① 10 / 4（土） ② 10 / 18（土） 13：30～16：30	9 / 1（月）

A

発達が気になる子どもと家族への支援のあり方

神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲 氏

小児科医として、長年発達障がいの診断・治療に携わってこられた講師より、最新の知見と成長に伴うライフステージに沿った支援のあり方をご講義いただきます。診断や検査、薬物治療等の医療的援助について、また食事や睡眠等、日常生活で取り組んでいくべきこと、保護者やきょうだいへの家族支援、地域支援についてのご提言をいただきます。

B

発達障がいの特性理解と合理的配慮

大阪教育大学名誉教授 大阪医科薬科大学 LD センター顧問 竹田 契一 氏

長年、発達障がい児の教育的支援をされている講師より、LD・ADHD・自閉スペクトラム症の子どもたちへの関わり方と合理的配慮について分かりやすくご講義いただきます。

C

神戸市における特別支援教育

特別支援教育相談センター担当課長 大西 道代 氏
公認心理師・特別支援教育士 SV 根来あゆみ 氏

特別支援教育相談センターや通級指導教室を例に挙げながら、親も子も安心して学校生活を送ることができるよう、小中学校における特別支援教育について学びます。また子どもを支えるために知っておきたい発達について心理師の視点からお話しいたします。

D

ABA（応用行動分析学）から行動問題を考えよう！

兵庫教育大学大学院教授 井澤 信三 氏

応用行動分析学（ABA：Applied Behavior Analysis）は、行動を理解し、支援する上で役に立つ考え方です。基本的には、行動を個人と環境との相互作用から捉えますが、その ABA の考え方の鍵になるのが ABC 分析です。ABC 分析から環境側にいる自分自身ができること（関わり方）は何かを考えていきます。

子どもの行動問題の理解・支援についてわかりやすく解説いただくとともに、実際の支援事例を交えてお話しいたします。よくある行動問題の事例を基に、具体的な理解と支援についてみんなで考えてみましょう。

E

ソーシャルスキルトレーニング（SST）

大阪医科薬科大学 LD センター 西岡 有香 氏

ソーシャルスキルとは対人関係に関する知識、対人関係で使う具体的なスキル、それを適切に使いこなす力を指します。ソーシャルスキルは親や大人が教えるしつけと重なる部分もありますが、しつけと同様に、教えても身につきにくい子がいます。学ぶ力が弱い子どもや学び方が違う子どもには、意図して、子どもに合わせた教え方で教えなければ身につきにくいものです。この講義では、まず援助者が対象児についての理解を深め、ニーズを知るところからスタートし、ソーシャルスキルトレーニングの基本を学びます。

F

TEACCHプログラム

エルムおおさか所長 井上 芳子 氏

自閉スペクトラム症の障がい特性に配慮するために開発されたTEACCHプログラムは、場所や時間の構造化（活動しやすい場・分かりやすいスケジュールの提示等）によって、障がい者だけでなく、すべての人々の生活を快適にしています。講義では自閉スペクトラム症の特性から具体的な支援方法、その評価などを多くの資料や視聴覚教材で学んでいきます。

G

インリアル・アプローチ ★専門講座

奈良県総合医療センター 日本インリアル研究会 永安 香 氏
日本インリアル研究会会長 河内 清美 氏
湯里保育園園長 日本インリアル研究会 富山 幸恵 氏

インリアルは、1974年にアメリカで言語発達遅滞児に対するコミュニケーション・アプローチとして開発されました。子どものかかわりたい、話したいという意欲を支えながらコミュニケーションの力を育てていきます。そのため、かかわる大人は子どもを静かに見守り、行動や気持ちを理解し、子どもの「ことばにならないことば」に耳を傾けながら、子どものレベルに合わせて反応的にかかわることを基本にしています。援助者が子どもにとっての良いコミュニケーターになれることを目指して、具体的な事例をもとにかかわり方の「基本姿勢」やことばかけの「言語心理学的技法」を学びます。

H

言語療法 ①集団指導 ②個別指導 ★専門講座

城陽市立ふたば園園長 言語聴覚士 松尾 育子 氏

ことばはコミュニケーション、学習、思考、行動コントロール、記憶の道具です。

ふたば園では、就学前の子どもを対象とした療育を行っています。子どもを通して工夫してきた教材や設定のなかから、言語・コミュニケーションに焦点を当てた指導について具体的にご紹介したいと思っています。

道具として使えることばの学習について一緒に考えていきましょう。

修了証について

A～Fの講座を受講された中で4講座（①②となっている講座は両方受講された方のみ）、かつ12時間以上の講義時間を受講された方には、修了証を発行します。修了証については別途ご案内します。

ボランティアの案内について

修了証を受領された方で、発達障がいに関する知識を有するボランティアとして活動を希望される方は、こべっこランド療育サポーターへの登録をご案内します。